

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



令和5年7月13日発行

【令和5年度学校経営の重点】

**一人一人が成長を実感し
笑顔あふれる栄小学校**

～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ（児童）】

**「あたり前のことが
あたり前にできる 栄っ子」**

多くの体験学習 出前授業を実施しています！

5月8日以降、新型コロナウイルスは、第5類となり、学校における感染対策も緩和されました。そこで、様々な体験学習を企画したり、専門的な知識・技術をもつ講師から学ぶための出前講座を実施するなどの取組を行っています。6年生は、帯広税務署から講師をお招きし、「租税教室」を実施しました。税金がなければどのような世界になるのかビデオ視聴等を通して学びました。また、イミテーションではありますが、ケースに入った1億円の札束を確認するなどの体験もしました。5年生は上下水道の出前講座（写真）の学習を行いました。浄水場、下水処理場のそれぞれの講師の方に来ていただき、いっしょに授業を行っています。帯広市の上下水道の仕組みについて学ぶ機会となりました。その他にも手話教室（5年）など様々な取組を行っています。

5年生の宿泊学習は、1泊2日で実施されます。1組は10月10日・11日、2組は10月11日・12日に実施します。宿泊を伴うことで、学校では体験できない様々な活動に取り組むことができます。また、4年生は郷土体験学習ということで、くりりんセンターや百年記念館等に見学に行きます。どの学年も学習の理解が深まったり、範囲が広がったりするなど、充実した学習につながっています。



個人懇談 ありがとうございました！ 児童用木製机・椅子の無償提供について

6月26日（月）から、5日間にわたって個人懇談が行われました。ご多用の中、お時間を作っていただき、ありがとうございました。一人一人のお子さんの成長のために、学校と家庭が連携・協力して進めていくことが大切です。今回の個人懇談で話し合われた内容は、学校、家庭それぞれで、今後の指導・支援に生かしていけるように取り組んでいきたいです。また、今後においても何か心配な点等がありましたら、学校（担任）までご連絡下さい。よろしくお願いします。

今年度は、低学年で使用している木製の机・椅子がスチール製の机・椅子に更新されます。本校以外にも更新する学校がいくつかあり、使用しない木製机・椅子を有効活用するために、市民に無償提供することになっています。木製の机・椅子は、8月25日（金）10時から12時までの時間帯に、旧学校給食調理場で提供されます。詳細につきましては、帯広市のホームページ、広報おびひろ8月号でお知らせする予定とのことです。事前予約は行わず、無くなり次第終了の予定です。

帯広市いじめ・非行防止サミットが開催されました！

6月27日（火）の放課後に、帯広市いじめ・非行防止サミットが開催されました。帯広市のすべての小中学校の児童・生徒の代表が、いじめや非行に関する共通のテーマで話し合い、問題意識や自治意識の向上を図り、児童会と生徒会の連携を深めることを目的に毎年開催しています。今年度は、「一人一人が笑顔で楽しく過ごすことができる学校とは？」をテーマに、その実現のためにどのようなことをしたら良いのか話し合いをしました。本校からは、児童会代表として、佐瀬児童会長、黒沼副会長、山本議長の3名が出席しました。話し合いは、グループ討議という形で、「一中・北栄小・栄小・啓北小」の4校の代表で行いました。栄小からは、現在力を入れている取組として「学級紹介」などのお話をしました。他校の児童会の取組から学びながら、「笑顔で楽しく過ごせる学校」を目指して児童みんなで協力して取り組んでいきましょう。



「思春期を見通した子育て」の大切さについて！

「思春期を見通した子育て」の大切さについて耳にすることがありました。「子供たちが高校生になり、高校を卒業した姿を思い描きながら子育てに取り組まなければならない」という内容でした。長期的な展望を持った親の関わり方について考えさせられました。小学校教育に携わる私たち教員も、この視点に立った指導支援を進めていくことが求められていると感じています。

子育ての最終目標は、自立した一人の人間として社会に送り出すことです。自立できる力を身に付けさせるために、今、どのように関わっていくのが良いかを考えることが大切です。

すべてを世話する乳児期から始まって、徐々に手をかける度合いを減らしながら、目をかけ（見守り）、声をかけることを増やしていき、最終的には完全に自立させ、親の手から離してやることになります。

ところが、この加減が難しいようです。手をかけすぎたり（過保護）、声をかけすぎたり（過干渉）、かけなさすぎたり（放任）することは、いずれも子ども達の自立を阻むことになってしまいます。私たち大人は、今の関わり方が自立に繋がるのかどうかを、常に確かめ続けることが必要になります。

支えるところは支え、見守るところは見守り、子供が自分でできる力（自立の力）を伸ばせるように関わっていくことができたらと考える今日この頃です。

PTA厚生部主催 「花の小径草取り」 ありがとうございました！

栄小学校のグラウンドの北側に「花の小径」という憩いの場所があります。連日の夏の日差しで雑草もぐんぐん伸びています。そこで、PTA 厚生部の皆さんが「花の小径の草取り」を計画してくださいました。当日は、ご多用の中、多くの皆さまにご参加いただきました。ありがとうございました。（60名ほどのみなさんに参加していただきました。小学生もたくさん参加してくれました。）

たいへん暑い中でしたが、みなさん熱心に草取りを行っていただき、見違えるほどきれいな小径になりました。取った後の草の量を見るとびっくりするほどでした。子ども達の健やかな心身の成長のためには、校舎内外の環境整備が大切であると感じます。子ども達が元気よくカー杯活動できるようにこれからもご理解とご協力をお願い致します。企画していただきましたPTA厚生部のみなさま、暑い中、熱心に作業をしていただいたみなさま、ありがとうございました。



授業改善に向けて 校内研修を進めています！

一人一人の子どもたちにしっかりと力を身につけさせるために、学校全体で、校内研修に取り組んでいます。本校の校内研修は、今年度から「主体的な学びをつくる子どもに」を研究主題として取り組んでいます。未来に生きる子どもたちに大切な力を身につけさせるために、「主体的で対話的で深い学び」を実現できる授業改善を進めることが大切とされています。本校では、その切り口として「主体的な学び」に焦点をあてて校内研修を進めています。すでにそのモデル授業としての校内授業研修を遠藤教諭が担当し6年1組で実施しています。全教職員で本校の授業改善の進め方について共有することができました。

また、7月中旬にはICT教育の一環として、専門の講師をお招きし、効果的なICT教育の進め方について学び合います。クロームブックを活用した授業は、学年の発達段階に応じて学習を進めています。今後より有効な指導方法について学び合いながら本校の授業改善を進めていきたいと考えております。

学力向上に向けて③

